

第 11 回 苫小牧市食育推進協議会 開催結果

日 時	令和 3 年 11 月 24 日（水） 18：30～19：15
場 所	市役所 2 階 22 会議室
出席委員	会田委員、五十嵐（昭）委員、五十嵐（寛）委員、斉藤委員、重田委員、高橋委員、辻屋委員、野村委員、福原委員、藤岡委員、山内委員 (敬称略、五十音順)
事 務 局	健康こども部健康支援課
会議次第	1 開会 2 部長挨拶 3 議事 (1) 第 2 次苫小牧市食育推進計画（素案）の修正・変更点について (2) 今後のスケジュールについて 4 その他 5 閉会
議事録	別紙のとおり

第11回 苫小牧市食育推進協議会 議事録

○出雲課長補佐 お時間少し早いですけれども、お集まりいただいておりますので、ただいまから第11回苫小牧市食育推進協議会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。本日司会を務めます健康支援課課長補佐の出雲と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

開催に当たり、健康こども部長よりご挨拶を申し上げます。

(桜田健康こども部長 挨拶)

前回、ご都合によりご欠席され、本日の協議会に初めてご出席されます委員をご紹介します。公募委員の会田未由希委員です。会田委員、自己紹介をお願いいたします。

(会田委員 挨拶)

ありがとうございました。

本日の協議会は、委員12名中11名の皆様にご出席いただいておりますので、苫小牧市食育推進協議会設置要綱第6条第2項に基づきまして本協議会が成立していることをご報告申し上げます。

これより議事に入りますが、議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

1つ目に、次第。事前に郵送いたしました資料1。資料2、今後の策定スケジュール。資料3、意見募集要項。差替ページ39ページ、44ページ。座席表。以上の6点になりますけれども、全ておそろいでしょうか。

また、皆様のお席にマイクを設置しております。発言の際はボタンを押していただき、終わりましたらもう一度ボタンを押していただきますようお願いいたします。

なお、本日の会議は20時頃をめどに終了したいと考えておりますので、円滑な議事の進行にご協力くださいますようお願い申し上げます。

それでは、これからの議事進行は、五十嵐委員長をお願いいたします。

●五十嵐(昭)委員長 はい。それでは、皆さんこんばんは。今日もどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速ではございますが、次第に沿って議事を進めてまいりたいと思います。

議事1、苫小牧市食育推進計画(素案)の修正・変更について、事務局から説明をお願いいたします。

○草賀主査 健康支援課の草賀と申します。私から、第2次苫小牧市食育推進計画(素案)修正版の説明をさせていただきます。着座にて失礼し、説明させていただきます。

前回、協議会にてご意見をいただきましたことを反映し、11月12日に庁内検討会議を行いました。そこでの意見を踏まえ、素案の修正、追加をいたしましたので、ご説明します。

今回の修正・追加は主にコラムや関係団体の取組についてになります。この件についてご説明

させていただきます。

委員の皆様より関係団体の取組に掲載する情報や、写真の提供をいただきまして、大変ありがとうございました。

それでは、1ページ目から順に追加した部分を説明させていただきます。

前回、10月29日の協議会以降、追加した部分を青く記しております。

まず、1ページ目です。『食育』とは、の1行目。青く塗り潰している部分です。食育の説明を分かりやすくするために、重田委員からご意見をいただきまして、「食育とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てることです。」を追加しています。

続きまして、7ページ目をご覧ください。

下段にコラムがあります。食育の合言葉は『とまこまい (my) ライフ』。これは、第1次計画で重点項目として、『とまこまい (my) ライフ』を設定し、計画推進に取り組んできました。今後の2次計画でも、『とまこまい (my) ライフ』の後に続く言葉を意識し、食育を進めていきたいと考えておりますので、この合言葉は引き続き周知していきたいと考えており、コラムとして掲載しております。

10ページ目をご覧ください。

10ページ目のコラムです。時間がない朝、何食べる？①では、第2次計画策定に当たってのアンケート調査結果で、朝食欠食率が高くなっていたことから、気軽に取りれる朝食の工夫点について掲載しています。

13ページをご覧ください。

こちらにも、時間がない朝、何食べる？②としまして、①の続きの内容で、時間がない中で取れる朝食について掲載いたしました。

続きまして、17ページをご覧ください。

こちらのコラム、カレーライスって主食なの？主菜なの？①では、前回の協議会で斎藤委員から主食、主菜、副菜を1品ずつでなくても、気軽に取りれている料理があることを周知できるとよいとご意見をいただきましたので、コラムでこのように掲載いたしました。

また、主食が赤、主菜が黄色、副菜は緑と色で区別することで、子供も分かりやすく、バランスを意識できることもこのコラムに含めました。

カレーライスは主食なのか、主菜なのかの回答を後ろのページに掲載し、本計画を読み進めていただけるよう工夫しました。答えは24ページに掲載しておりますので、後ほどご説明いたします。

その下段のコラムです。食育ピクトグラムを掲載しました。この食育ピクトグラムは、今年できたのもので、全部で12種類あり、その一部を紹介しています。

続きまして、22ページをご覧ください。

下段のほうに、共食と孤食についてのコラムを掲載しています。コロナの影響により、新たな日常が取り入れられていますが、オンライン共食という共食の形が生まれたことにも触れており

ます。

続きまして、24ページをご覧ください。

こちらのコラム、カレーライスって主食なの？主菜なの？の②です。先ほどカレーライスは主食か主菜かの回答を掲載しました。答えは、主食でもあり、主菜、副菜でもあるということです。

また、カレーライスだけでなく、天井や鍋、お好み焼きなど身近な料理で取れていることを掲載しています。

続きまして、29ページをご覧ください。

29ページのコラムでは、もっと魚を食べようという項目で、苫小牧で獲れる魚についても説明しています。下段には、食中毒予防について掲載しております。

続きまして、33ページをご覧ください。

こちらのコラムには、「栄養成分表示」を活用しましょうと、栄養成分表示について説明しています。食品にどのような栄養素が含まれているかを気に留め、栄養を考えて食品を選ぶことも食育であると伝えています。

次のページの34ページ、下段の部分をご覧ください。

こちらは、非常食のローリングストックについて掲載しています。非常食を常備し、賞味期限を考えて食べ、買い足すことが災害時にも食料を確保するために大切であることを伝えています。

続きまして、36ページから第4章、食育推進の取組に入ります。

39ページをご覧ください。

こちらでは、学校給食での取組事例として「栄養教諭のお仕事」を掲載しています。こちらの資料を本日配付しました39ページの資料と差し替えをしていただきたいと思います。本日お配りした資料をご覧ください。

市内小学校担当の栄養教諭の先生から情報をいただきました。栄養教諭について把握していない方も少なくないと思いますので、栄養教諭の取組について掲載しています。

学校での栄養に関する授業の様子や、給食センターへ見学に行った際の様子について、写真を掲載しています。

39ページの下段から、関係団体の取組を掲載しています。

まず初めに、苫小牧保健所の北海道ヘルスサポートレストランについてです。健康に配慮したメニューを提供しているレストランを一つ星から三つ星まで三段階で認定し、地域の健康づくりにつなげていく事業です。

続きまして、次のページの40ページをご覧ください。

北海道栄養士会苫小牧支部では、関係団体が実施する事業の協力を行っており、その一つである食べるたいせつフェスティバルで、栄養バランスの指導を行っている様子について掲載いたしました。

同じページの下段に苫小牧地方食品衛生協会の取組について掲載しております。苫小牧地方食品衛生協会では、衛生管理巡回指導や食品衛生責任者養成講習会の様子について掲載しています。

続きまして、隣の41ページ下段にフードバンク活動についてのコラムです。食べきれない食品

を困っている方に提供し、食品ロスを削減する取組について掲載しています。

続きまして、43ページをご覧ください。

下段に、関係団体の取組として、苫小牧市農業委員会の新規就農者への農地斡旋の取組を掲載しています。

新規就農者、既存農家への農地斡旋を行っていること。また、安全安心な地元農産物の生産や地産地消の拡大を目指しています。直売所での地元農産物の販売風景の写真を掲載しております。

次のページ、44ページをご覧ください。

こちらにも本日、差し替え資料としてお渡しした資料をご覧ください。

苫小牧消費者協会のみんなの消費生活展への参加、料理教室について掲載しています。

こちらは、文書を変更しておりますので、青く記させていただいています。変更した部分を読み上げます。

「消費者協会だより」を通じた食に関する情報発信や、健やかな身体づくりを目的とした調理講習会、地元食材をさらに工夫して食べるための講話など、消費生活の向上のため食に関する活動を行っています。調理時における食品ロスの削減や、若者たちへ旬の食材のおいしさを伝えることも、わたしたちの役目として取り組んでいます。」と修正させていただいております。

その下に東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい実行委員会について。また、その隣のページに苫小牧漁港ホッキまつりについて地産地消の取組を掲載しております。

続きまして、46ページをご覧ください。

下段のコラムでは、6月は食育月間であること、毎月19日は食育の日と掲載し、食育月間、食育の日について周知をしています。

48ページをご覧ください。

こちらには、食育に関する活動をしている児童センターの取組を紹介しています。大成児童センターでは、日本の文化行事にちなんだ食事や、収穫した野菜を料理するイベントについて掲載しています。

また、その下段ですが、北栄児童センターです。定期的に食育通信を発行し、料理レシピや健康に食するために必要なことなどについて子供たちに発信しています。

隣の49ページをご覧ください。

北海道私立幼稚園協会苫小牧・日高支部、その下に苫小牧市法人保育園協議会から幼稚園や認定こども園、保育園の食育活動として、野菜づくりの様子や調理実習について掲載しています。

50ページをご覧ください。

こちらは、一般市民団体から食育に関する活動について公募したところ、ご覧の3団体から情報をいただきまして、掲載させていただきました。地域団体の取組という形で掲載しています。

最後に、51ページの第5章、食育推進にあたっての数値目標（第2次目標）についてです。

前回の協議会で、重田委員から平成28年度の数値を入れ、比較できると良いとのご意見をいただきましたので、平成28年度の数値を表に追加しています。

52ページからの第6章、計画推進体制以降の追加、修正はありません。

以上、説明を終わります。

●五十嵐（昭）委員長 ありがとうございます。

ただいま事務局から議事について説明いただきましたが、委員の皆さんから何かご質問、ご意見などはございませんか。

齊藤委員。

●齊藤委員 コラムは、いろいろ問題点に焦点を当てたものとなっていて、分かりやすくやってみようという行動に移ると感じました。

1つ、39ページの「栄養教諭のお仕事」の最後の行のところですが、「担当以外の学校に出向いて授業を行うこともあります。」と書かれていますが、勤務されているところが主になっていて、そこから他の学校に出向いて行っているということなのでしょうか。

○山本管理栄養士 山本と申します。

今、ご質問いただいた部分に関してですが、栄養教諭の先生や給食センターのほうに確認を取ったところ、基本的には自分の栄養教諭の担当校につきましては、授業を各学年行えているというのが実情だということではありますが、それ以外の学校に関しましては、基本的に希望があった学校、学年に出向くというようなのが現状ということで情報をいただきましたので、このような書き方になっております。

●五十嵐（昭）委員長 よろしいでしょうか。はい。

ほかに、質問、ご意見等はございますか。はい、会田委員。

●会田委員 コラムも入って、すごく目を引いて楽しい計画になっているように感じました。

前回欠席だったので、私分からないだけかもしれないですけども、第4章から始まる基本目標の後に3という数字が入って、ロゴが入っています。これは、数字と何か関連があるのですか。

3はあるけど、1はなかったり、次は2から6、11、12とか数字が飛び飛びなので、何か関連があるのかな。それが分からなかったの、教えていただきたいです。

あと、41ページのこのロゴは、ちょっとバランスが悪いかなというふうに思いました。

以上です。

○草賀主査 では、ただいま会田委員からご指摘のあった点ですけれども、こちらは、SDGs持続可能な開発目標のピクトグラムを入れておまして、17種類の目標がそれぞれ決まったピクトグラムで、それに番号がついておまして、そのまま掲載させていただいております。各基本目標に関連する項目を、このピクトグラムそれぞれ当てはめております。

○山本管理栄養士 SDGsのピクトグラムを使っていたのですけれども、確かに今ご指摘いただいたとおり、SDGsのピクトグラムを使っていますなどという注釈は入っていなかったの、こちらは追加しようと思います。ありがとうございます。

○草賀主査 あと、加えまして、こちらのSDGsのピクトグラムと17ページの食育のピクトグラムとはまた別なもので、番号がこちらにもついているので、ちょっと混乱しやすいでしょうか。

○山本管理栄養士 この点について、もう少し詳細はこちらで検討させていただきたいんですが、17ページの食育ピクトグラムとSDGsのピクトグラムは異なるものでもありますし、第4章のほうには

SDGsのピクトグラムのみ掲載していて、17ページには食育のピクトグラムのことのみ触れているという、その部分で混同しやすい部分なのかなというふうに思いましたので、例えばどちらかに統一するだとか、17ページのコラムを外すなど、SDGsについてもう少し書き加えるなど、何らかそういった手段を考えようと思います。

●五十嵐（昭）委員長 よろしいですか。はい。

はい、お願いします。藤岡委員。

●藤岡委員 37ページから市の取組のほうで、確か、私は市のほうの観光振興ビジョンのほうもやっているんですけども、その中の取組で、アスリートフードマイスターが入っていたと思うんですけども、これを入れなくていいのかなと気がつきました。

○草賀主査 担当課に確認しましたら、その事業が終了したということだったので、計画から除外しております。

●藤岡委員 分かりました。ありがとうございます。

●福原委員 この37ページの妊娠期・乳幼児期の1番のパパママ教室ですけど、私今年初孫ができて、この健康支援課のパパママ教室を受講したいなって応募したんですけど、うちは幸い当選して受講できたのですが、25組が抽せんということで、初めての赤ちゃんを産む夫婦に、抽せんではなくて、もし希望者が多過ぎたら2回か3回に分けるとか、希望する人全員が受講できるように取り組んでほしいなと思いました。

以上です。

●五十嵐（昭）委員長 意見ということでよろしいでしょうか。

●福原委員 はい。

●五十嵐（昭）委員長 はい。

○草賀主査 ご意見、ありがとうございます。できるだけ受講できるように、来年度以降も回数について検討していく考えもありますけれども、確かに今ご意見いただきましたように初めて出産される方は不安の中でもありますので、今のご意見を持ち帰って検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

●五十嵐（昭）委員長 ほかにありますか。

よろしいでしょうか。質問、意見がなければ、次の議事に移ります。

議事の2、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いいたします。

○吉田健康支援課長 健康支援課の吉田と申します。

私から今後の計画策定スケジュールについてご説明させていただきます。資料2、A4縦の資料をご覧ください。

まず、第2次苫小牧市食育推進計画の策定に当たりまして、市民から広く意見を募集するため、12月7日から令和4年1月5日にかけてパブリックコメントを実施いたします。パブリックコメントにつきましては、市ホームページや広報とまこまい12月号に掲載し、広く市民の皆様へ周知させていただきます。

資料につきましては、市のホームページからダウンロードできるほか、健康支援課窓口、市役

所2階市民情報コーナー、駅前にありますCOCOTOMA、各出張所、コミセンでも入手が可能となっております。

資料3として、パブリックコメントの募集要項をお配りさせていただいておりますので、ご参考までにご覧いただければと思います。

続きまして、令和4年1月末頃をめどに、第12回食育推進協議会を開催させていただき、本日の協議会とパブリックコメントの両方でいただいたご意見を反映させた最終案を委員の皆様にお示しさせていただく予定でございます。その後、令和4年3月上旬に入りまして、完成した本計画を市議会所管委員会、こちら厚生委員会という委員会になりますけれども、こちらのほうに提出をし、同月下旬には印刷製本、配付という流れになってまいります。

以上、簡単ではございますが、今後の計画策定スケジュールについての説明を終わらせていただきます。

●五十嵐（昭）委員長 はい。ありがとうございました。

今後のスケジュールについて資料の2、資料の3についての説明がありましたが、各委員の皆様から何か質問等ございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

はい。それでは、最後に、その他として議事全体を通して各委員の皆様からご質問やご意見があれば、挙手をお願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。はい。

以上で、本日予定していた全ての議事が終了いたしました。スムーズな議事進行にご協力いただき、本当に、誠にありがとうございました。

○出雲課長補佐 五十嵐委員長、ありがとうございました。

以上をもちまして、第11回苫小牧市食育推進協議会を閉会いたします。

次期協議会は、パブリックコメント実施後の令和4年1月末頃を予定しております。委員の皆様には、日程が決まり次第ご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございました。